



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 株式会社中央製作所
 コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-821-6166

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,306	43.2	6		3		2	
2018年3月期第1四半期	912	24.5	15		7		7	

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 11百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 4百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	3.47	
2018年3月期第1四半期	9.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,167	2,152	41.6
2018年3月期	5,252	2,183	41.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 2,152百万円 2018年3月期 2,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		25.00	25.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,420	7.7	50	1.8	60	4.7	50	18.4	64.60
通期	5,000	5.0	115	7.6	140	9.4	120	10.3	155.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	784,300 株	2018年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	10,315 株	2018年3月期	10,285 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	773,993 株	2018年3月期1Q	774,483 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な公共投資や自動車関連や半導体関連の好調な輸出及び強気の設備投資計画が予定されている一方で、実質賃金の伸び悩みや将来に対する老後の不安から引き続き個人消費が低調に推移したことから、景況感が悪化しつつあり、力強さに欠ける状況となりました。

また、世界に目を転じますと、米国の大型減税やアジア地区での省力化等の設備投資需要の好調さから拡大基調が持続しましたが、今後の米中貿易摩擦の激化懸念や原油の高騰及び米国の利上げ等を契機とし、不確実性が増大しつつあり、楽観できない状況となっております。

こうした経済情勢の中で、当社グループは新規顧客の獲得、既存顧客への新価値提供のため新製品、新技術の開発に注力するとともに、競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対応し需要の掘り起こしに注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は1,477百万円（前年同四半期比4.6%減）、売上高は1,306百万円（前年同四半期比43.2%増）となり、損益については、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）、経常利益3百万円（前年同四半期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）の計上となりました。

今後におきましては、先行きについては、消費の盛り上がりが見込みにくいことや、燃料価格の上昇、人手不足などが懸念され一服感がみられる経済環境の中で、引き続き受注、設備投資等への期待ができ、積極的な提案営業により受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

（電源機器）

電源機器につきましては、専用電源は、電池およびコンデンサなどの電子部品業界を中心に様々な仕様にお応えするとともに、納期の短縮にも努めてまいりました。また、汎用電源は、通信機能搭載のご要望にお応えできるよう積極的に取り組んでまいりました。その結果、受注高は491百万円（前年同四半期比0.6%減）と減少したものの、売上高は487百万円（前年同四半期比48.9%増）と大きく増加いたしました。

今後につきましては、より多様な市場のニーズにお応えするとともに、電源変換の更なる高効率化を目指した新型電源の開発およびオープンフィールドネットワーク対応も含めた通信機能のラインアップ拡充に取り組み、電源機器の販売シェアの拡大を目指してまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置につきましては、国内の既存設備の更新需要の掘り起こしと稼働中の装置の改造や修理メンテナンス案件に対して積極的に取り組んでまいりました。その結果、受注高は449百万円（前年同四半期比16.5%減）と減少したものの、売上高は529百万円（前年同四半期比259.1%増）と大きく増加いたしました。

今後につきましては、積極的な技術提案により新規・更新需要の掘り起こしと、IoT技術を活用した予防保全のシステムであるCCCS-M（中央コンピュータコントロールシステム—メンテナンスの商品名）の提案を推進し、受注・売上の確保に鋭意努めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機につきましては、国内自動車業界、鋼製家具業界、電装機器業界、建設資材業界などを中心に、新規設備投資・更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外につきましても海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりました。その結果、受注高は272百万円（前年同四半期比7.2%増）と増加したものの、売上高は147百万円（前年同四半期比49.5%減）と大きく減少いたしました。

今後につきましては、精密溶接分野への新商品の市場投入に向け国内外を問わず市場の開拓に注力してまいります。

（環境機器）

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は45百万円（前年同四半期比23.5%減）と減少したものの、売上高は59百万円（前年同四半期比6.6%増）と増加いたしました。

今後につきましては、更なるコストダウンの取り組みとともに海外市場における液管理装置やリサイクル装置（当社製品のエチクリーンやベーパーコン）の販路開拓に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し4,118百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が227百万円増加したものの、賞与や法人税の支払などで現金及び預金が352百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し1,049百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が9百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し5,167百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し2,455百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が52百万円増加したものの、前受金や未払費用などの減少によりその他が72百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し560百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が7百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し3,015百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し2,152百万円となりました。これは、主として利益剰余金が16百万円、その他有価証券評価差額金が13百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2018年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,519,069	1,166,897
受取手形及び売掛金	1,243,156	1,470,555
電子記録債権	467,309	479,792
商品及び製品	58,460	61,821
仕掛品	762,544	700,242
原材料及び貯蔵品	96,925	133,015
その他	49,606	106,387
貸倒引当金	△700	△700
流動資産合計	4,196,371	4,118,012
固定資産		
有形固定資産	278,568	281,823
無形固定資産	5,539	5,002
投資その他の資産	772,006	762,982
固定資産合計	1,056,114	1,049,808
資産合計	5,252,486	5,167,820
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,720	1,319,596
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	27,308	2,826
その他	465,437	392,889
流動負債合計	2,499,467	2,455,312
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,500	120,310
退職給付に係る負債	374,460	367,367
その他	78,895	72,784
固定負債合計	569,855	560,462
負債合計	3,069,323	3,015,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,235,103	1,218,440
自己株式	△15,349	△15,390
株主資本合計	1,948,339	1,931,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,355	212,497
為替換算調整勘定	8,468	7,912
その他の包括利益累計額合計	234,823	220,410
純資産合計	2,183,163	2,152,046
負債純資産合計	5,252,486	5,167,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	912,438	1,306,501
売上原価	662,765	1,042,416
売上総利益	249,672	264,084
販売費及び一般管理費	264,922	270,228
営業損失(△)	△15,250	△6,143
営業外収益		
受取利息	150	199
受取配当金	4,178	4,732
持分法による投資利益	4,936	3,966
為替差益	-	494
その他	456	1,505
営業外収益合計	9,722	10,898
営業外費用		
支払利息	1,357	1,400
為替差損	103	-
その他	116	202
営業外費用合計	1,577	1,603
経常利益又は経常損失(△)	△7,105	3,151
特別利益		
固定資産売却益	9	-
特別利益合計	9	-
特別損失		
固定資産処分損	164	-
特別損失合計	164	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,259	3,151
法人税、住民税及び事業税	464	464
法人税等合計	464	464
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,723	2,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,723	2,687

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,723	2,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,145	△13,857
為替換算調整勘定	△896	△556
その他の包括利益合計	12,248	△14,413
四半期包括利益	4,524	△11,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,524	△11,726
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	414,483	0.7
表面処理装置	418,259	37.8
電気溶接機	187,587	△19.2
環境機器	55,797	△18.5
その他	102,271	22.5
合計	1,178,399	7.2

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	491,657	△0.6	695,018	17.8
表面処理装置	449,297	△16.5	706,142	△31.7
電気溶接機	272,009	7.2	325,045	92.2
環境機器	45,488	△23.5	32,359	△22.8
その他	218,687	8.1	304,497	72.9
合計	1,477,140	△4.6	2,063,061	2.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	487,566	48.9
表面処理装置	529,807	259.1
電気溶接機	147,832	△49.5
環境機器	59,699	6.6
その他	81,595	△7.8
合計	1,306,501	43.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。